算数科学習指導案

指導者　伊藤　大朗

１　日時・場所　　１月２７日（水）　第５校時　教室
２　学年・組　　第３学年４組　３３名
３　単元名　　**「ぼうグラフと表」～見やすく整理して表そう～**
４　子どもの姿

５　単元について
（１）単元目標
　○　資料を分類整理し、表やグラフを用いてわかりやすく表したり、読み取ったりすることができるようにする。
　○　棒グラフの読み方やかき方について知る。

（２）単元設定の意図
　本単元は、資料を整理して、その結果をまとめてわかりやすく表現する方法として、グラフを用いることが有効であることに気づかせ、進んで表やグラフを活用する態度を育てることがねらいである。
　児童は、第２学年の「ひょうとグラフ」で、簡単な事柄を整理して表すこと、それを読むことを学習してきた。表については数える活動と合わせて、１つの集団について１つの観点で分類整理した一次元表を学習している。また、グラフについては、個数を○の数で表すといった初歩的な場合を学習している。
　このことを踏まえて、本単元ではさらに複雑な資料を、落ちや重なりがないように要領よく整理する手順を理解させたい。そして、表や棒グラフの読み方やかき方という技能面をきちんと定着させ、他の教科でも活用できるようにしていきたい。そのためには、児童が身近に感じられるような資料を用意して、楽しみながら主体的に活動できるようにする。

（３）教材の系統性

２年
ひょうとグラフ
・簡単な一次元表の読み方、かき方
・簡単なグラフの読み方、かき方

→

３年　本単元
・資料を分類して一次元表にまとめること
・棒グラフの読み方、かき方
・簡単な二次元表のまとめ方と読み方

→

４年
折れ線グラフ
・折れ線グラフの読み方、かき方
・グラフの傾き方と事象の変化の関係の考察
整理のしかた
・２つの観点から資料を分類整理すること
・上記のことを二次元表にまとめて特徴を調べること

６　評価規準

関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
・資料を分類整理して表に表すことのよさに気づいている。 ・表と棒グラフを比較する活動を通して、棒グラフでは数量の大小がひと目でわかるよさに気づいている。	・資料を分類整理するとき、資料に落ちや重なりがないことを確認したり、誤りが起きにくいような方法を考えたりして工夫している。 ・目盛りのつけ方が異なる複数のグラフを比較する活動を通して、目的にあった適切な目盛りのつけ方について考え説明している。	・正の字を書きながら資料を分類整理することができる。 ・表や棒グラフに表したり読み取ったりすることができる。	・棒グラフの読み方を理解している。 ・棒グラフのかき方を理解している。 ・２次元表の意味を理解している。

７　テーマにせまるための手立て

～　緑区視聴覚・情報教育研究会　研究テーマ　～

自ら学び続ける子どもを育てるための、情報・視聴覚教育メディアをいかした学習の推進
～明日の授業に役立つ教材・機器の活用～

出会いの工夫

・スライドショーを見て、怪我の種類や数を整理する活動を単元の導入にすることで、児童の学習意欲を高め、自ら学ぶ態度を引き出したい。

視聴覚機器の活用

・スライドショーを用いることで、子どもの要望に応じて何度も見返したり、動きのスピードを変えたりすることが容易にできる。
・スライドショーという動きのある資料を整理することで、「正」の字を使って資料を整理することに必要感をもたせることができる。また、視聴覚機器を用いて視覚的に情報を得ることで認知能力を高まると考える。
・実物投影機で子どもの考えを大型モニターに映すことで、視覚的に互いの考えを共有することができ共通理解が深まる。

８　指導計画（９時間）

小単元	時	学習活動　☆使用する視聴覚機器
整理のしかた	１ （本時）	・動画の資料を見て、早く・正しく・分かりやすく数を数える方法を考える。 ・正の字を書きながら資料を分類整理する便利さを確認し、正の字の数え方を実践する。 ☆スライドショー、実物投影機、テレビ
	２	・資料を分類整理して表に表す。 ・表に表すことのよさを考える。 ☆実物投影機、テレビ
ぼうグラフ	３	・かんたんな棒グラフの読み方を知る。 ・棒グラフに表すことのよさを考える。 ☆実物投影機、テレビ
	４	・棒グラフのかき方を知る。 ☆実物投影機、テレビ
	５	・棒グラフのかき方を練習する。 ☆ジャストスマイル
	６	・数量が横軸に表されている棒グラフを読む。 ・１目盛りの大きさをとらえて、棒グラフを読む。 ☆実物投影機、テレビ
	７	・目盛りのとり方が違う棒グラフを見比べて、見え方の違いを考える。 ☆実物投影機、テレビ
表の工夫	８	・一次元表を組み合わせた、簡単な二次元表を読む。 ・二次元表の有用性を考える。 ☆実物投影機、テレビ
まとめ	９	・学習内容を適用して問題を解決する。 ・学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。 ☆実物投影機、テレビ

９　本時目標

〇資料を見て、それぞれのけがの人数を数える方法を自分なりに考えた上で、正の字を書きながら資料を分類整理する便利さを知り、実践できるようになる。

１０　本時展開（１/９時間）

	学習活動	☆支援　◎評価
問題把握	１　単元の流れと本時の課題をつかむ。 **ビデオを見て、それぞれのけがの人数を数えよう。** **早く、正しく、分かりやすく数を数えるには、どんな工夫ができるか考えよう。**	☆保健室からの手紙を読む。
問題解決	２　活動を通して、早く正しく分かりやすく数える方法を自分なりに考え実践する。 ・２年生の時は、〇で整理した。 ・数字を書こう。 ・正の字で数えているところをみたことある。 ３　自分なりの工夫や考えを発表する。 ・数字を書きながら数えることができた。 ・点を打って数えると早く数えられる。 ・正の字を書きながら数えると分かりやすく表にまとめられる。 ４　自分や友達の数え方のよいところをワークシートに書く。	☆机間指導しながら児童の考えた工夫を把握する。 ☆子ども達の要望に応じ、スライドショーの速さを調整したりけがの数の合計を教えたりするなどの支援を行う。 ☆ワークシートを実物投影機で拡大し、視覚的に共有できるようにする。 ◎資料をすばやく正確に分類整理するための工夫を考えている。（数学的な考え方）
練り上げ	５　自分や友達の数え方のよいところを発表する。 ・５こずつだと数えやすい。 ・正の字だと分かりやすい。 ６　本時のまとめをする。	☆まとめは子どもの言葉でまとめていく。 ☆点の数で表したものと正の字で表したものを比較して、正の字で数えるよさを実感できるようにする。
練習・適用・発展	７　スペシャル問題を解いて、正の字を書きながら数える方法を実践する。 ８　次時の予告をする。	☆スライドショーで問題を提示する。 ◎正の字を書きながら、すばやく正確に資料を分類整理することができる。（技能）

ぼうグラフと表 ～見やすく整理して表そう～	名前

【問題】　ビデオを見て、それぞれのけがの人数を数えよう。

＜めあて＞早く、正しく、分かりやすく数を数えるには、どんな工夫ができるか考えよう。

＜自分や友達の数え方のよいところ＞

＜まとめ＞

＜スペシャル問題＞

しゅるい	メモ	数
校庭		
体育館		
教室		
ろう下		
げた箱		